

## 〈女子団体組手第3位の明倫中学校の皆さんにお聞きしました〉



左より 小林 未侑 選手（2年） 仙台 士才（つかさ）選手（3年） 仙台 丈子（ともみ）選手（3年）

～全国大会での3位入賞おめでとうございます。まず感想は？～

丈子：嬉しかったです。

士才：嬉しかったけど、悔しかったです。

未侑：嬉しかったです。でも、もうひとつ勝ちたかったです。

～第3位という結果はどうですか？～

丈子：もっと上に行きたかったです。

士才：決勝まで行きたかったです。

未侑：ここまで来たら優勝したかったです。

～準決勝・静岡の浜松開誠館中学校とは3人とも引き分けて、士才さんが代表戦でしたが～

士才：勝たなきゃと思いましたが、3－7で負けてしまい悔しかったです。

～全国大会、全体を通しての感想は？～

丈子：緊張したけれども、いざという時に頑張れました。

士才：優勝して、土田先生（崇武館新庄支部副支部長・新庄市立明倫中学校監督）を J K F a n（空手道の専門誌）に載せようとしたのですが、それができず残念でした。

未侑：迫力があつたけれども、気持ちで負けませんでした。

～最後に、今後の抱負を聞かせて下さい～

丈子：これからも空手を続けていきたいので頑張りたいです。

士才：勉強の成績をあげるように頑張りたいです。

未侑：個人戦では悔しい思い（3回戦敗退）をしたので、来年は個人でベスト8に入れるようにしたいです。

### 〈女子個人形第5位の明倫中学校・佐々木梢選手（2年）にお聞きしました〉



～全国大会での第5位入賞、今の感想は？～

全国大会ではじめての入賞だったので、信じられなかったです。

～形は何を打ちましたか？～

1・2回戦は第一指定形のセーパイ、3・4回戦は第2指定形のクルルンファを打ちました。準々決勝では得意形のスーパーリンペイを打ちました。

～準々決勝は沖縄の選手、同じスーパーリンペイでの勝負だったそうですね～

相手の選手の方が上手でした。

～今までどんな練習をしてきましたか？～

毎日2時間ぐらい、またはそれ以上練習してきました。また、出稽古に行き指導していただくこともありました。

～今後の目標は？～

（第3位以上に入賞して）メダルをとれるように頑張ります。

## 〈監督をされた崇武館新庄支部・土田副支部長にお聞きしました〉

～団体組手・個人形での全国入賞、素晴らしい結果ですね～

実は、女子団体形・男子個人組手でも入賞を狙っていたのです。特に女子団体形は形を「合わせる」ことよりも「個人の技量」を高めることを目標に取り組み、決勝形まで仕上げていたのですが……。無号令でも呼吸が合うところまで作り上げて、全国でも恥ずかしくない技量は身につけて、自信を持っていったので、残念でした。でも子供たちは頑張りました。

～でも、女子団体組手の第3位入賞は凄いですよね～

今回は“相手の力を発揮させない組手”を目標に、相手の来ようとする間合いやタイミングをずらすことを練習しました。たとえば、相手に技を出させてカウンターを打ったり、相手の動けないタイミングでの攻撃をしたりなどです。そのことで、早いだけ・強いだけの勝負ではない、空手らしい勝負をすることを目指しました。

選手は大会前2ヶ月ぐらいから伸びてくるので、そこからどんどん練習をさせました。仕上げの1ヶ月は男女関係なく組手をさせました。また、直前は男子とのみ組手をして、スピードや力強さを養う練習をしました。男女の別なく練習をし、互いが本気でぶつかったのがよかったと思います。また、OBの高校生も積極的に練習に参加してくれました。

選手は試合をするたびに自信をつけていき、また必ず勝負のときに「どうにかなる」という気持ちになれるようになっていきました。3人の選手の信頼関係ができていますので、カバーしあえる穴のないチームができてきました。このことは今後の人生に必ず生きてくると思います。

子供たちは本気で団体の日本一を狙っていたので、本当に悔しがっていましたが、全国大会で第3位入賞というのはよくやったと思います。監督として“神経を使う”ことができる選手と出会えたことは本当によかったです。

～個人形での佐々木選手の活躍も素晴らしかったですね～

昨年活躍した 坂上 愛 選手(現:新庄北高校1年)もそうでしたが、毎日の練習でも、強化練習や出稽古でも、非常にストイックになれるのが凄いところです。

～彼女も一試合ごとによくなってきたそうですね～

「蹴り」が非常によくなってきました。1回戦のセーパイでの蹴りと比べ、4回戦のクルルンファでの蹴りは明らかによくなっていました。まだ2年生ですので、今後は「抜け」のよい突き蹴りの練習をさせていきたいです。また、筋肉の使い方も意識させていきたいと思います。

～まだ2年生ですからね～

来年も楽しみです。

## 〈崇武館新庄支部・武田支部長にお聞きしました〉

～昨年に引き続き、素晴らしい活躍でした～

まずは飛鳥館長はじめ崇武館一門の皆様、並びに山形県空手道連盟の皆様にご心より感謝申し上げます。2年連続で全国大会上位入賞できたのは本当に嬉しいことです。子供たちが一生懸命汗を流したことが報われました。その姿を見ている後輩たちが先輩に続こうと努力していることがこの結果を導いたのではないのでしょうか。

～この好成績の要因は何だとお考えですか～

毎日の練習はもちろんのこと、崇武館一門の合同稽古や山形県ジュニア空手道アカデミー、山形県空手道連盟のジュニア強化事業の成果だと思います。また、県内外の団体との合同練習や遠征合宿などの効果が出てきたのでしょう。今後もこういった機会を増やしていければと思います。

～来年以降も好成績が続くといいですね～

日々の練習だけではなく、県の練習会や県外への遠征の成果が証明されたので、今後もそういった機会を増やしていきたいと考えています。また来年に向けて、高校生のOB・OGを月に1回ぐらい集めて中学生と練習させたいと思案中です。



《指導に当たった方々》

左より 伊藤先生（日新中監督）・土田先生（明倫中監督）・菊地先生（県 Jr 強化部長）  
武田先生（崇武館新庄支部長）・小林先生（明倫中コーチ）  
※菊地先生は大会審判員も務めました。